

令和5年12月

神奈川県立歴史博物館 運営方針

神奈川県立歴史博物館は、自然科学及び人文科学に関する総合博物館であった県立博物館（1967年（昭和42年）3月開館）を前身とし、1995年（平成7年）3月に人文系の博物館として再編整備し開館した。

かながわの文化と歴史を通史的・総合的に扱う唯一の博物館として、かながわの先史・古代から現代に至るまでの歴史・美術・考古・民俗に関する貴重な資料を収集し、適切に保存・活用して未来へつなぐとともに、専門性を発揮した調査研究活動を着実に進め、当館の特色を生かした魅力ある展示や講座などによりその成果を公開し、県民の生涯にわたる学びを支援していく。

また、すべての人びとに開かれた社会教育施設として、資料の価値やそれに関わる人の活動などの情報が広く共有されるよう、公開と発信に取り組むとともに、開館以来蓄積してきた活動や資源を基盤として、他博物館や関係機関、地域のさまざまな団体等と相互に連携して地域の活力の向上に取り組み、多様化・高度化する博物館の役割を果たしていく。

こうした活動の基盤として、1904年（明治37年）に竣工した歴史的建造物である当館建物（国指定重要文化財「旧横浜正金銀行本店本館」）を適切に保存・活用し未来へ継承することはもとより、運営を支える人材の確保・育成と財源の確保に努め、持続可能な博物館活動に取り組んでいく。